

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Musicco step		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 1月 21日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別でなく小集団での療育のため、集団中での学びがある。かつ、小学校に比べると小さな集団なので負担が少ない。	集団の中で過ごすということを意識したさりげない声掛けや、友達同士でお互いに興味や関わりがもてるような環境を設定を行っている。	・集団遊びやボードゲームの機会を増やしたり、他のプログラムの日でも集団を意識した声掛けを継続する。 ・利用人数が多い日は特に、個別での支援が必要な子どもに丁寧な関わりや他児との関わりを提供できていない時もあると思う。机の向きなどの環境調整で工夫したり、職員配置を充実させたりしていきたい。
2	児童発達から継続して、新1年生も安心して放デイの利用をスタートできる。	・児童期間に得た一人一人の情報をもとに、放デイに上がる際はメンバー間の相性や特性を配慮して利用曜日の編成を行っている。 ・平日は放デイを担当している先生も、土曜には児発の時間に出勤する機会を作り、児発の期間から色々な先生との信頼関係を築けるようにしている。	・新1年生の就学先や利用曜日の予定などについて、どの職員も共有できるように書類を保管しているものの、うまく共有できていないのが現状。放デイ移行へ向けて、児発担当者は“どのような準備が必要か”、放デイ担当者は“どのような体制での受け入れが必要か”、それぞれの立場で情報を理解して、スムーズな移行を促進していきたい。
3	お買い物体験や公共交通機関の利用など、生活に密着した体験的活動ができる。	将来の生活に必要なことを見越してプログラムを立案している。	・バスの利用を何度も経験しているが、スムーズにバスに乗るところを意識するあまりバスの払い方や両替の仕方などをあまり体験できていなかったと思う。より“生活の自立”につながるよう、取り組み内容や支援方法のブラッシュアップを行う。 ・買い物際の計算や看板の文字の読み取りなど、学校の学習と連動している部分ももちろんあるので、それが保護者により伝わるよう、プログラムの内容紹介や記録の書き方にも工夫をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員数の不足。基準人員は満たしているものの、放デイの時間は一度に8人程度過ごす日もあると思うと、安全かつ充実した支援を行うにはもう少し人員を充足させたい。	産休・育休を取得中の職員がおり、パート職員でつなぐことを余儀なくされていた。開業後まだ年数も浅く、財政状況的にも利用者が安定するまではプラス1で職員を配置することが難しかった。	・来年度は産休、育休職員復帰の目途が立ったので、プラス1の人員でゆとりをもって対応していく。さらなる支援の充足・安定した職員体制を目指し、支援員の採用活動を行っていききたい。
2	就学前の様子の共有ができていない。(放デイから利用をスタートした児童について)	特に特別支援学校へ通うお子さんの場合はそれまでの情報が知りたい時もあるが、放デイから利用を開始した場合、今現在の悩みや生活についてのアセスメントは行うものの、それまでの遍歴(園生活や児童発達支援の利用について)をさかのぼって聞き取ることが十分にできていない。	・聞きたい事項や知りたいことがある時は、保護者にそれまでの様子を聞き取る、アセスメントシートを振り返るなどしていく。 ・必要に応じて、通っていた園や児童発達支援への聞き取り、連絡も行っていききたい。
3	地域との交流や、保護者会の開催、参観などができていない。	施設内は活動するのに必要な広さはあるものの、外部から人を招くほどの広さはなく、地域に開いたプログラムが立案できていない。ペアレントトレーニングの実施は毎年行っているのでもそこで保護者の交流はあるものの、年に6～7名程度での実施なので、限定されている。いつもと違う状況が苦手という利用者たちの特性を鑑み、参観等も実施できていなかった。	・土曜日プログラムで児童館に遊びに行く、ベアトレ同窓会と題し過去3年間の受講者で集まる場を作る、父母参観の期間を設けるなど工夫する。予約ページのプログラム名にも記載し実施内容を保護者に分かりやすく周知する。交流の様子はMusicco日よりなどで全体へ周知する。参観は利用児にも保護者にもなるべく負担が少ない方法を考慮する。(指定した2週間ほどを参観期間とし一度に参観できるのは3家庭までの予約制。土曜に公園で家族や兄弟も含めて一緒に活動する親子参加制。等)

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Musicco step

公表日

2025年2月28日

利用児童数

40

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	1	6	・他のデイサービスよりも外で教育活動などもされていると思います。	地域の子どもと関わる機会があっても、その日利用していない保護者には伝えることができていない。Musiccoだよりを今後も活用していく。児童館に遊びに行くなどのプログラムも計画する。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	1	6	・本人と家族、きょうだいへの支援は別物だと考えています。	・ペアトレは毎年実施しているものの年度ごとに6.7人程度の参加、かつ年度を跨いでの交流が無いので、同窓会的に集まる機会を作りたい。 ・父母参観、土曜日に親子参加型参観などを実施したい。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13 未回答1						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13 未回答1					
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13 未回答1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13 未回答1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11 未回答1	1		1		マニュアルは玄関スペースに置いてあるものの、いつでも確認できるということを保護者へ周知できていなかった。分かりやすい所に掲示し、アンケート結果とともに周知する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9 未回答1	1		3		年に数回避難訓練を行っているものの、その日参加していない保護者には取り組んでいることやその内容を伝えられていない。予約の時点でその日に避難訓練をするということが分かるよう、プログラム名に『避難訓練』の文言を入れる。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12 未回答1			1		安全計画を、保護者が確認できる玄関スペースに分かりやすく掲示する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12 未回答1			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13 未回答1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13 未回答1					・子ども達は楽しみにしており、安心感のあるデイなんだと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13 未回答1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Musicco step				公表日		2025年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2		・放デイの時間は人数も多いのでもう一人職員がいるとより安全に過ごせるかなと思う。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			・車いすの受け入れは△			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2 未回答1	2					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5						
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5						
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5						

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			・その日に出動していない職員も見ることができるよう、朝礼の内容をシステム内の日報にあげているのは良いと思う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4 未回答1			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			・それぞれの状況や気持ちに合わせて選択して先生に伝えている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・支援会議以外にも、共有できるように共有ファイルを作成している。	・保健、医療との連携は△
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・園に通っていない利用者の場合は、事業所が園の代わりとなって就学前の共有を学校と行っている。	・児発から継続の場合は共有できていることが多いが、放デイからスタートの場合は△
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3 未回答2			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		・担当者会議で出会えた時は助言を受けることができている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4 未回答1		・他の小学校や中高生との交流の機会がある。 ・地域の人や子どもと関わる機会をもっていると思う	・児童クラブでうまく過ごせない（特性理解が得られず怒られることが多い等）子もいるので、児童クラブとの連携・交流は今後考えていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4 未回答1			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4 未回答1			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4 未回答1			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4 未回答1			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4 未回答1			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4 未回答1			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4 未回答1		・プログラム内で兄弟との関わりがあったり、ペアレントトレーニングなどを通じて保護者同士で交流したりできていると思う。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4 未回答1			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4 未回答1			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4 未回答1			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4 未回答1			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2 未回答1	2		・招待する等はできておらず、実現が難しいところはあると思う。園庭に出ている時や園外へ出かける活動の際に地域の方とも関わられるようにしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4 未回答1			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4 未回答1			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4 未回答1			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3 未回答2			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4 未回答1			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2 未回答2	1		・家族に周知はできていない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4 未回答1			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4 未回答1			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4 未回答1				